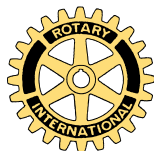


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2008～2009年度 国際ロータリー 李 東建（リー・ドンカン）会長テーマ

Make Dreams Real 夢をかたちに

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 塚本 幸夫  
幹事 廣根 実  
会報委員長 今村 順

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2612回例会プログラム

[当年度=13回目；当月=3週目]

2008年（平成20年）10月27日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……………日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
※第1四半期皆出席表彰（出席委員会）  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(11/3) ……休会（法定休日）  
(11/10) ……クラブフォーラム

(ロータリー財団委員会)

講師 地区ロータリー財団委員会

副委員長 石川 昌和様

(豊橋南RC)

(紹介者 杉浦 芳一会員)

## 2. クラブフォーラム……〈米山奨学委員会〉

- 13:00 卓話「私の家族と私の目指すもの」  
講師 米山奨学生 スリ・クンチョロ さん  
(紹介者 市川 裕大会員)
13. 謝辞  
14. 点鐘……〈会長〉  
15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

## 出席

会員総数 94名 出席免除 21名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名  
欠席 5名 出席率 94.25%  
前々回(10/6)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 10月7日、刈谷市国際交流協会の役員会に出席しました。
- 2) 10月18日、第4回ロータリーカップ・サッカー大会の開会式に、嶋津新世代委員長と共に出席しました。
- 3) 10月16日、知立クラブと合同で、定例のゴルフコンペが多治見CCで開催されました。結果は並み居る強豪をおしのけて、見事、神谷光義会員が優勝されました。おめでとうございます。また刈谷クラブ単独では、天野櫻子会員がグロス79のベストスコアで優勝されました。おめでとうございます。

## 幹事報告

- 1) この度 RI2760地区より地区史「進化するロータリー愛知」が発刊されました。刈谷クラブとしては、地区のご要請に沿って全員購読することを理事会で決定させていただきました。  
書籍が届き次第皆様にお配りしますので、その際に書籍代金2,000円のお支払いをよろしく願います。
- 2) 本日レターケースにて、先日の辻村ガバナー補佐訪問時に全員で撮影した記念写真をお配りしました。さすが繁ちゃん、全員いい顔で写っています。
- 3) 同じくレターケースにて、先に皆様からご回答いただいた「ロータリーについて考える・アンケート」を集計しまとめたものをお配りしました。片山ガバナーにもお届けすると共に、皆様の今後のロータリー活動の参考としていただければ幸いです。

皆様のご協力誠にありがとうございました。

- 4) “ひかりの家”から要請がありまして、次月11月中のどこかで、昨年度も皆様にご協力いただいた、手作りクッキーの販売を予定いたします。なかなか美味しいと好評でしたし、頑張ってもらってひかりの家の活動の一助になればと思います。よろしく願いいたします。
- 5) 本日例会終了後、事務局にて第5回理事会を行いますので、関係者の皆様はよろしく願いいたします。  
また、次週11月3日は、法定休日にて休会です。

## 委員会報告

### ●環境保全委員会

愛知県環境部より、全国エコタウン大会（11月12日、13日）のご案内がありました。詳しい資料は事務局にあります。

## 会長あいさつ

### 薬まつり

塚本 幸夫



日本には大きな薬祭りが全国で行われており、長崎から函館まで15箇所ほどあります。

薬祭りは薬祖神を主として、疫病の流行する時期に鎮める祭りと、薬草を用い無病息災、厄除けなどを祈願するものがあります。

日本の薬の街といえば大阪は道修町、東京は日本橋本町、名古屋は京町と江戸時代から言われ、道修町は大川、東京には神田川、名古屋には堀川があり、現在も薬業関係の社屋の多い街です。川が医薬品の物流に役立ったと思われる。

道修町は豊臣時代に始まり、今の繁栄は8代将軍吉宗公が大阪で病に倒れ、道修町より薬を献上、効能即ち現れ回復、吉宗公が薬種屋124軒に免許を与え、和薬改会所を設けさせ、諸国より入荷する薬の真偽、善悪を吟味する特権を付与し、その後薬種取引の地位を確立しました。

1月1日、京都の祇園八坂神社で、「をけら詣」があります。京都の人は年初早朝に八坂神社にお参りに行き、そこで「をけら火（白朮火）」をもらい火縄に移し家に持ち帰り、それを火種にして火を起し、お雑煮を支度する風習があったといえます。そうすると1年中家内安全、無病でいられるといえます。白朮はキク科の植物で、火にくべるとフルフラールが揮発成分として出るので、<sup>かび</sup>黴とりと厄病除け（邪気払い）となります。

昔は市電が走っていましたが火のついた縄を持った乗客もこの日は大目に見られていたとのこと。

大阪の最後の祭り（とめ祭り）として親しまれている神農祭は、11月22、23日の両日開催されます。御堂筋か

ら堺筋にかけて飾りをつけ屋台もピッシリ、薬の神様、農業の神様、香具師（ヤシ）の神様もおいでになります。

お祭りでの楽しみの一つに縁起物があります。名古屋の京町の少彦名神社大祭では、破魔矢でお守がついており、その中に白朮の生薬が入っていましたが、事故があつてはとの事で、最近桂皮になったとの事があります。

私も仕事にゆとりができましたら全国の薬祭りに参加してみたいと思います。

## 第5回理事会

- I 会長挨拶 〈会長〉
- II 議題
  1. 11・12月のプログラム（案）について 〈クラブ奉仕委員長〉  
〈プログラム委員長〉
  2. クリスマス家族会について 〈クラブ奉仕委員長〉  
〈親睦活動委員長〉
  3. ライラセミナー参加について 〈新世代委員長〉
  4. 次年度指名委員について 〈幹事〉
  5. 出席規定適用免除の申請について 〈幹事〉
  6. その他
- III 会場監督の所見

## クラブフォーラム

### 卓話

#### 「私の家族と私の目指すもの」

米山奨学生 スリ・クンチョロ さん



皆様、こんにちは。私はインドネシアの中部ジャワのボヨラリ市から参りました、スリ・クンチョロと申します。今は、中部大学・経営情報学研究科・経営情報学専攻の博士前期課程に在籍中で、eラーニングに

関して勉強しています。

本日は、皆様の前で卓話をさせていただく事になり、大変光栄に思います。ドキドキ、わくわくするとともに、皆様への感謝の気持ちで一杯です。

今年の4月に米山奨学生に選ばれ、今日までこれのも、市川様をはじめ、刈谷ロータリークラブの皆様のお陰です。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

私は、家族のこと、また奨学生になってから感じたことをロータリーの理念の一つである「他者理解」に即してお話ししたいと思います。

私は4人兄弟の長男です。父と母が結婚した時、母は13才でした。翌年に私が生まれました。私の面倒は祖父と祖母が看てくれました。祖父と祖母は、私に両親のことを内緒にしていたので、私は、祖父を「父」、祖母を「母」、父を「兄」、母を「姉」だと思っていました。

次男はポリオにかかって、自分の意思で体を動かせま

せんでした。貧乏な私たちは、治療費をととも払えませんでした。中国系インドネシア人たちが援助してくれました。

残念ながら、7歳の時次男が亡くなりました。同じ年、父が交通事故で亡くなりました。当時、私は小学校2年生で、三男が4才、妹が2才でした。家族を支えるために、母は仕事でジャカルタやサウジアラビアまで出かけて行きました。

祖父は、先月亡くなりました。これまで祖父のことを「父」と呼んでいましたが、祖母のことも今までどおり「母」と呼んで、大事に、大事にしていきます。

現在、母は小さな雑貨店をやっており、祖母は母の商売を手伝っています。三男は、家で畑の仕事をやりながら祖母と母と暮らしています。妹は、ジャカルタのプラスチック工場で働いており、来年結婚する予定です。

私は、飛行機専門高等学校を卒業後、1991年にガルーダ・インドネシア航空に入り、インドネシア大学でジェットエンジンやパワープラントについて勉強しました。卒業後、整備士として4年間働き、1999年4月から日本に留学しています。

奨学金をいただく前は、春日井市の運送会社で深夜2時や3時までアルバイトをしていました。疲れ果てて生活リズムが乱れ、あまり勉強できませんでした。余裕がなくて、日本に来て6年間は、インドネシアに帰国できませんでした。

ロータリーに出会って、時間とお金の余裕ができて、アルバイト生活からも抜け出し、研究用のプログラミング言語の勉強もできて、感謝の気持ちで一杯です。日本に来て本当に良かったと思います。私が努力した分は、絶対に自分に帰ってくると信じています。

これからの自分の人生を成功させるために、他人とのコミュニケーションや「理解し合う」ことをもっと学びたいと思います。刈谷ロータリークラブの皆様一人一人とお会いし、人生の先輩、お手本とさせていただき多くのことを得たいです。

そして、私は自分の家族や、周りの人や地域のためにも、成功した人生を送りたい。そして、次の世代に何かを教えてあげたい、何かを残したいと思っています。どうぞ、これからもご指導をよろしく願いいたします。